

2019/02/10の定期メンテナンスにおける kintone API、Garoon API更新情報 (2019/01/11)

2019年2月10日の定期メンテナンスの、kintone API, Garoon API の更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

kintone REST API

不具合改修

- レスポンスにアクセス権のないフィールドが含まれる
 - 対象API
 - [レコードの取得 \(1件\)](#) (GET /k/v1/record.json)
 - [レコードの一括取得 \(クエリで条件を指定\)](#) (GET /k/v1/records.json)
 - 修正内容:
フィールドのアクセス権でユーザー選択フィールド (グループ選択、組織選択、作業者、作成者、更新者フィールドでも同様) で閲覧可/編集可に設定し、かつEveryoneを閲覧不可/編集不可に設定して、アクセス権のないユーザーで対象APIを実行したとき
 - 修正前: アクセス権がなくても、レスポンスに該当フィールドが含まれる。
 - 修正後: レスポンスに該当フィールドが含まれない。
- ルックアップで「ほかのフィールドのコピー」に設定したフィールドに「言語ごとの名称」を設定している場合、APIによる登録/更新時に正常に値をコピーできない
 - 対象API
 - [レコードの登録 \(1件\)](#) (POST /k/v1/record.json)
 - [レコードの一括登録](#) (POST /k/v1/records.json)
 - [レコードの更新 \(1件\)](#) (PUT /k/v1/record.json)
 - [レコードの一括更新](#) (PUT /k/v1/records.json)
 - 修正内容:
ルックアップで「ほかのフィールドのコピー」に設定したフィールドに「言語ごとの名称」を設定して、対象APIでレコード登録または更新した場合
 - 修正前: コピー元のフィールドの言語が一致していても、正常に値をコピーできない

- 修正後: レコードが登録され、各フィールドの値がコピーされる。

その他告知

- **kintone.api()**でUser APIを実行できることを仕様で定義
 - 対象API
 - [kintone REST APIリクエストを送信する](#) (kintone.api(pathOrUrl, method, params, opt_callback, opt_errback))
 - 内容: kintone.api()で、User APIのうち、URI末尾が.json"のものが実行できると、仕様で定義されました。ただし、[ファイルアップロードAPI\(/v1/file.json\)](#)は対象外となります。(2018年10月版より) 詳細は[ドキュメント](#)をご確認ください。

kintone JavaScript API

不具合改修

- **プロセス管理のアクションイベントで、アクセス権がないフィールドを編集しようとしてもエラーにならない**
 - 対象API
 - [プロセス管理のアクションイベント](#)
(app.record.detail.process.proceed/mobile.app.record.detail.process.proceed)
 - 修正内容:
フィールドのアクセス権でユーザー選択フィールド(グループ選択、組織選択、作業者、作成者、更新者フィールドでも同様)で編集不可に設定している場合、該当フィールドに対してプロセス管理のアクションイベントで変更を行うカスタマイズを実行したとき
 - 修正前: エラーが起きずステータスが変更される。
 - 修正後: エラーが起きてステータスが変更できない。

Garoon JavaScript API

機能追加

- **APIの新規追加**
 - 対象API
次のAPIが追加されます。
 - [Garoon REST APIリクエストを送信する](#)
garoon.api(pathOrUrl, method, params, callback, opt_errback)